

三田工業株式会社



企業レポート

1. 会社概要

名称 三田工業株式会社
本社 〒540
大阪市中央区玉造1丁目2番28号
創立 昭和9年11月
設立 昭和23年7月
資本金 32.5億円
年商 1268億円
社員数 3925人
代表者 代表取締役社長 三田順啓
事業内容 普通紙複写機 (PPC), ジアゾ複写機, ファクシミリ, レーザープリンタ 複写機
関連製品及びサプライ製品の製造・販売

2. 会社の沿革

1934年、大阪市玉造で創立して以来、当社は複写機メーカーの草分的存在として常に業界をリードしてきました。

創立当初は『青写真焼き付け機』を生産していました。その後、ジアゾ複写機、直接式電子写真複写機の生産を経て、今日、当社の製品は普通紙複写機 (PPC) を初めファクシミリ、



プリンタなどの画像情報機器全般に及んでいます。当社は、創立以来製品の信頼性ということを中心に第1に考えて参りました。その結果、広く世界のユーザーにその品質が認められ、現在では、国内12支店83営業所、海外19ヵ国、42事業所を拠点に世界各国で活発な営業活動を行っています。mitaの活躍するところ、それはまさに“地球”なのです。

3. 事業内容

当社の主力商品である普通紙複写機は、電子写真方式と呼ばれるもので、基本的には次の6つの工程からできています。

- (1) 帯電
- (2) 露光
- (3) 現像
- (4) 転写/分離
- (5) 定着
- (6) クリーニング

通常の複写機は以上の工程を高速でくり返し、我々が手にすることができるコピーが出来上がります。複写機は機械本体と複写材料の最適な組み合わせの結果から成り立っており、物理・化学・電機・電子を初め様々な科学技術が複写機というシステムを支えています。当社の研究領域も多岐にわたり、国内外からの情報を基にユーザーニーズに沿った活動を繰りひろげています。その結果1989年には「正帯電有機感光体の開発」に関し近畿化学協会より「化学技術賞」を1990年には日本化学会より「化学技術賞」を受賞しました。又、「高画質現像材の開発と現像システムの開発」に関して大阪工研協会より「工業技術賞」を受賞いたしました。

より早く、より美しくをモットーに「コピー作業の合理化」を手掛けて半世紀、mitaの歴

史は複写機の歴史とまで言われる様になりました。そして今、永年積み重ねた画像形成技術、複写技術を基盤として、新しい技術の研究開発を推し進めております。

4. 複写機技術の展開

今、時代はアナログからデジタルへと大きく変わろうとしています。複写機も従来のアナログ複写機からデジタル複写機の時代に移りかわりつつあります。複写機をデジタル化するにはまずの露光部分からの原稿の反射光をCCDなどの光電変換素子によって電気信号に

変換します。そして、その信号をA/D変換器によってデジタル化します。複写機をデジタル化する事で、それまでは単独でしか使用できなかった複写機と他のOA機器とのコミュニケーションが可能になります。さらに、デジタルならではの様々な画像処理も可能となります。電子写真複写機技術は普通紙ファクシミリ、レーザープリンタなどへの応用展開を初め、画像検索、画像認識といったソフトウェアとの組み合わせにより、全く新しい画像情報機器の出現を可能にしてゆくことでしょう。

